

気候情報

2017年2月の日本の天候

- 月平均気温は、北・東日本で高く、西日本、沖縄・奄美で平年並だった
- 上旬後半から中旬前半にかけて西日本日本海側で大雪となった
- 月間日照時間は、西日本太平洋側でかなり多かった

2月の天気概況

北日本では、北からの寒気の影響が弱く、月平均気温が高く、日本海側の降雪量はかなり少なかった。低気圧が北日本付近を通ることが多く、北日本日本海側では日照時間が少なかった。また、低気圧の影響が大きかった東北日本海側では、降雪量は少なかったが、雪ではなく雨の降る日もあり、降水量はかなり多かった。

東日本以西は、気温の高い時期と低い時期があり、月平均気温は西日本と沖縄・奄美は平年並だったが、東日本では低温の程度が弱く高かった。

上旬：低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。北・東・西日本の日本海側と沖縄・奄美では曇りや雪または雨の日が多かった。9日は、本州の南岸沿いを東進する低気圧の影響で、太平洋側でも雪になるところがあり、水戸で12 cm、奈良で2 cmの積雪となった。10日は、冬型の気圧配置が強まり、西日本中心に強い寒気が南下し、西日本日本海側では大雪となった。

旬平均気温は、北・東日本と沖縄・奄美は高く、西日本では平年並だった。

降水量は、西日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美はかなり少なく、北日本日本海側は少なかった。北日本太平洋側と東日本は平年並だった。

旬間日照時間は、北日本、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。東日本太平洋側と西日本は平年並だった。

中旬：旬の前半は強い冬型の気圧配置となり、日本海側では西日本を中心に大雪となった。鳥取では11日に積雪が91 cmとなった。後半は、数日の周期で低気圧が日本付近を通過した。17日は北海道の北を、20日は日本海を、低気圧が発達しながら通過したため、各地で暴風となり、気温がかなり高くなる場所もあり、各地で春一番となった。

旬平均気温は、北日本でかなり高かった。東・西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

降水量は、北・東日本日本海側でかなり多かった。一方、東・西日本太平洋側では少なかった。北日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。一方、西日本日本海側、沖縄・奄美ではかなり多く、東・西日本太平洋側で多かった。東日本日本海側では平年並だった。

下旬：冬型の気圧配置は一時的で長続きしなかった。北日本は低気圧の影響を受けやすく、曇りや雪または雨の日が多かった。東・西日本は、冷涼な高気圧に覆われ晴れる日が多かった。23日に低気圧は日本海を発達しながら通過し、全国的に雨または雪となった。各地で強風となり、関東甲信地方を中心に気温がかなり高くなった。沖縄・奄美では、前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、全国的に平年並だった。

降水量は、北日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。北日本日本海側と東・西日本は平年並だった。

日照時間は、北・東・西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。北・東・西日本日本海側は平年並だった。

2月の気候統計

月平均気温：北・東日本で高かった。西日本、沖縄・奄美で平年並だった。

月降水量：西日本日本海側で多かった。東日本太平洋側で少なかった。北日本、東日本日本海側、西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並だった。

月間日照時間：西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側で多かった。北日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側、東日本日本海側と沖縄・奄美で平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

2月の記録(1位更新のみ)

- ・月間日照時間多い方から (h)
- 軽井沢 214.3, 熊谷 238.9

2017年2月の平年差(比)図

